

社協だより

第200号

2023.12.1

点字・拡大・音訳版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 福岡県直方市津田町7番35号
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : <http://www.nogata-shakyo.org/>

もくじ

- 地域の輪(ぐるり)
 - ・ 情報の広場
(歳末たすけあい運動)
 - ・ 図書室
(希望の一滴)..... 2
- 社協からのお知らせ
(もちつき、社協会員
募集、登録ヘルパー
募集、物品寄贈)
 - ・ ご寄附..... 3
- 報告
 - ・ 社協役員紹介
 - ・ 福地校区社協設立..... 4



令和5年10月28日(土)に福祉まつりを開催しました。
素敵な垂れ幕を鞍手高校書道部の皆さまが作成してくださいました。

kantera

カンテラ

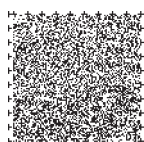


節目を迎えた社協だより

今号は、創刊から200号になります。昭和から令和へと時代が移り、名称も「のおがた社協会報」、「住民のふくし」、「直方社協だより」少数者、「社協だより」と変わりました。1974年(昭和49年)4月の「のおがた社協会報第12号」の1面には「手をつなぎ心を合わせて福祉社会の実現をめざそう!!」というとても力強い言葉があり、後々の直方市の地域福祉活動に大きな影響を与えていると思います。そして、この「つなぐ(つながる)」という言葉は、現代でも大きな意味を持っていることは誰もが理解されるところでしょう。また、創刊100号は1998年(平成10年)9月で、この年の4月に法制化された児童保育について特集記事があります。

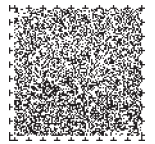
このカンテラも、それぞれの時代の「今」に光を当てて、担当編集委員が思いを言葉にして脈々とつないできました。社協だよりの存在意義は不変でありたいと思います。

(事務局長 駒山)



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。





地域の輪

地域に根ざした独自の福祉活動を紹介します。

人ともをつなぐ場所「ぐるり」

周辺はのどかな風景の中、(土日のどちらかの)毎週末は会場の結いの村・あおの縁舎(直方市頓野)で「あおのマルシェ」が開催され、ひととき多くの人出があります。グルメ・心地よい暮らしや雑貨・癒しの施術など、週替わりで10〜15店舗の出店があり、「のおがたこ」も宅食みんなの「ごはん」などの活動も行っている「NPO法人みんなの社会応援団」が主催しています。

そのマルシェ開催中の活動の一環で、あなたの知らないものが誰かの必要なものになる、ぐるぐる循環するフリー(無料)マーケットの「ぐるり」を昨年の11月から月に1度開いています。

もう使わないけれどまだ使える・捨てるにはもったいないものを持ち込み、また使いたいものがあれば自由に持ち帰れます。(できるだけきれいにしてお友達に譲れるもの)が持ち込める基準です。

会場のガレージ内いっぱいに持ち込まれた服飾品、食器、雑貨などが並べられ



ていて、「子どもが持ち帰る服で揃えてゼ口ロコードと名付けて楽しませていたことが印象に残っています」と、担当の吉田さんは話してくださいました。

「ぐるり」に具体的な持ち込み可能なモノ、開催日時などについては、「NPO法人みんなの社会応援団」の公式ホームページでご確認ください。

(藤田)

情報の広場

つながりさえあうあたたかいまち直方
令和5年度歳末たすけあい運動(募金)
にご協力ください!

歳末たすけあい運動は、身近な地域での支え合いを目的に、共同募金の一環として全国的に取り組まれています。

直方市で集められた歳末たすけあい募金は、全額が市内の福祉活動や地域活動に役立てられます。

令和5年度の目標額は、1,237,000円で、募金の主な配分予定として、12月に本会主催で行う福祉もちつき会があります。昨年度は殿町商店街で開催しました。約1300名の参加をいただき、コロナ禍で希薄になった地域のつながりの重要性を改めて感じることができました。

また、小学校の福祉教育に役立てていただきたく、福祉カレンダーを作成し、市内各小学校へ寄贈しました。その他は、福祉まつりの開催、校区福祉活動への助成です。

令和5年度も、皆さま方のあたたかい心で、できる限りのご協力の程、よろしくお願いいたします。



図書室



「希望の一滴」

著者 中村 哲

発行 西日本新聞社
直方市立図書館 所蔵

アフガニスタン・ジャラバードで2019年12月4日、中村哲医師(当時73歳)が乗った車が武装集団に襲撃され、中村医師と護衛の方々計6人が凶弾に倒れ死亡した。中村医師は、干ばつや戦乱で荒廃したアフガニスタンで、医療や灌漑事業による復興支援に力を尽くしていた。

最後の言葉

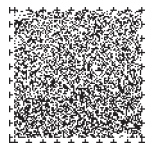
「今思い返すと、アフガン干ばつは、世界を席卷する気候災害の前哨戦であった。」

「まるで賽の河原のように、造っては崩れ、崩れては改良した。」

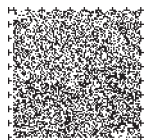
「必要なのは思想ではなく、温かい人間的関心であった。」

「経済的な貧困は必ずしも精神の貧困ではない。識字率や就学率は必ずしも文化的な高さの指標ではない。」

(広田)



この社協だよりは、点字版・拡大版・音訳版もあります。ご希望の方はご連絡ください。



登録ヘルパー募集

ご利用者の地域生活を、一番近くで支えるとても素敵なお仕事です。



■資格

介護職員初任者研修課程修了者
(ホームヘルパー2級以上可)

■賃金(時給)

1,100円～1,860円

■問い合わせ

直方市社会福祉協議会
総務係

利用者の笑顔を
引き出せた瞬間

お互いにシフトを
助け合える

ヘルパー同士
わきあいあい

休日を取り
やすい

社協会員募集のお願い

直方市社会福祉協議会では「誰ひとり取り残さない」という理念の基に、「福祉のまちづくり」を進めています。しかし、地域住民の方々や団体・企業の皆さまの応援なくしては十分な活動が行えない状況にあります。誰もが安心して暮らすことができ、**ともに生きる豊かな地域社会の実現**のために、ぜひ皆さまのお力をお貸しください。

- 個人会員 1口 1,000円～
- 団体会員 1口 5,000円～(法人会員以外の団体)
- 法人会員 1口 10,000円～
(会社、事務所、施設、事業所)

直方市社会福祉協議会



～「誰ひとり取り残さない」ために
皆さまの力が必要です～

物品寄贈 株式会社ダイナム様

株式会社ダイナム様から、社会福祉貢献活動の一環として、物品を寄贈していただきました。生活困窮者支援などに使用させていただきます。

株式会社ダイナム様、ありがとうございました。

ありがとう
ございました



福祉もちつき会を 開催します！

誰でも参加できる
「福祉もちつき会」を開催します。
小さいお子様のもちつき体験も
できますので、皆さまのご参加を
お待ちしております。

■とき

令和5年12月17日(日)

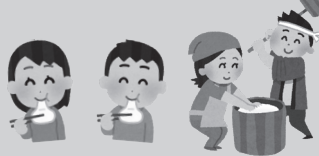
■ところ

直方市殿町商店街

■参加費

無料

おもちつき



●匿名 3件

未使用(書損じ)はがきと切手

●中泉 石田好子

●下新入 (故)田村泰人

●頼野 (故)山本久枝

香典返し寄附金

(お名前は承諾された方のみ掲載・敬称略)

6件 合計金額 118,615円

令和5年9月11日

令和5年11月10日

ご寄附ありがとうございます

●大谷金網工業株式会社

●スパークキッズ

令和5年度加入会員

(敬称略)

2件 合計金額 20,000円

令和5年9月11日

令和5年11月10日

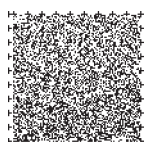
ご加入ありがとうございます



編集後記

社協だよりが200号を迎えました。年に4回の発行です。50年経ったという事になります。50年という歴史にビックリしています。半世紀を超えて反省期とも言えます。超高齢社会を迎え、これらの福祉の在り方とは？例えば、福祉まつりが直方市体育館から直方市商店街で実施されたり、五市に買い物支援でバスを出したり、これから一挙に増加すると言われる認知症に対する学習会や支援の在り方など。今まで特定の人に関わっていた支援を、市民の誰もが関われる工夫が必要なのようです。色々考えさせられた200号でした。

(石黒)



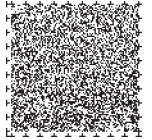
「福祉なんでも相談」受付中！お困りのことがあったらお気軽にご相談ください。



役員が決まりました

任期満了に伴う役員の改選を行い、併せて会長及び副会長を選定しましたのでご紹介いたします。(令和5年10月末現在)

役員一丸となり、より多くの市民の皆さま、関係機関の皆さまと連携して「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて精進してまいります。なお、現在選任されていない理事につきましては後日ご紹介させていただきます。



会 長 一尾 泰嗣 セトル (株) 代表取締役社長	副会長 西嶋 敏弘 直方市シニアクラブ連合会 会 長	副会長 中村 慎介 感田校区社会福祉協議会 会 長	理 事 宗廣 壽美子 直方市ボランティア連絡協議会 (認知症のひと家族の会直方 世話人代表)	理 事 中西 正信 障がい者問題を考える直方市 連絡会議 事務局長
理 事 志鶴 隆俊 直方市民生委員児童委員協議会 副会長	理 事 吉原 和敏 直方市民生委員児童委員協議会 副会長	理 事 池田 勇 直方市保育協会 副会長	理 事 向野 康江 直方文化連盟 理 事	
理 事 村津 正祐 直方市役所 市民部長	理 事 渡辺 幸一 直方市議会 副議長	監 事 毛利 隆徳 九州北部税理士会直方支部 監 事	監 事 丹下 優子 直轄地区障がい者基幹相談支援 センターかのん センター長	

校区社協

校区社協の組織構成 (例)

令和5年7月28日、福地校区社会福祉協議会(以下、福地校区社協)が設立されました。

校区社協とは、地域の住民同士が自分たちの住んでいる地域の生活・福祉課題や困りごとを情報共有しながら、互いに助け合い、支え合う活動を行う地域住民主体の組織です。

具体的には、一人暮らしの高齢者の見守り活動や、グラウンドゴルフ大会などの地域交流活動、ふれあいサロン、講座や研修の企画など校区によって活動内容は様々です。

直方市では小学校校区単位(11校区)で校区社協が組織されており、現在組織化されている校区社協は、南・新入・下境・西・感田・福地の6校区となりました。

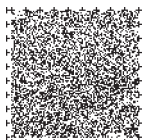
10月1日には、福地校区自主防災会との共催で、大規模土石流による災害を想定した「福地校区全域避難訓練」が行われました。

212名の方が参加され、警察署生活安全課長による防災に関する講話もあり、多くの方が防災意識を高める機会となりました。

「福地校区社会福祉協議会」

設立

福地校区全域避難訓練の様子



車いすなどの貸し出しをしています。詳しくはお問い合わせください。

